

ほうじょう  
**生命の豊饒、はじける元気**

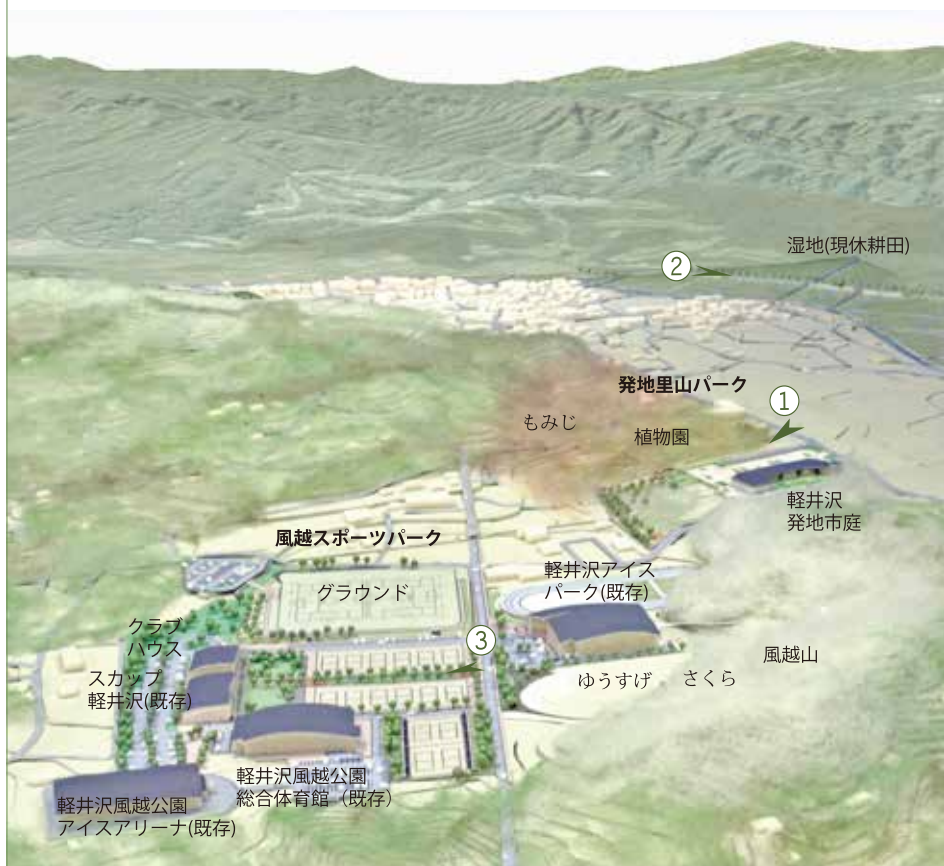
軽井沢町が目指す高原保養都市にとって、スポーツは先行き有望なテーマであり、その中心的役割を果たすうえで、風越地区に集結する各種施設を有効に結びつけ、全国に向けてその存在を発信することが大切です。

とりわけカーリングやアイスホッケーなどのウインタースポーツを通年スポーツに切り替えて活動の幅を広げていくうえで、軽井沢に集まる期待はかなりのレベルにあります。

このような期待に応えるため、植物園と野球場を発地へ移して余裕を生み出すことにより生まれる上品な緑の遊歩道とクラブハウスは「風越スポーツパーク」の交流と社交の場所になります。

また、風越に隣接して創られる農産物等直売施設「軽井沢発地市庭」<sup>ほつちいちば</sup>は、物販施設の域を超えて集約型・参加型農業経営のセンター的役割を担うほか、軽井沢モダン好みの新しい食文化を提案する実験レストランの併設が望まれます。

周辺の里山や鳥類の楽園となっている休耕田湿地を含めた全体を「発地里山パーク」と位置付け、風越から発地へ移転する植物園は、昆虫、魚類、鳥類、ほ乳類を含むあらゆる里山生態のインキュベーター（養育苗圃センター）にするのが良いでしょう。さらにまた里山斜面の林相を改良し、サクラ、コブシ、モミジなどの景観林を育成するほか、ホウの木、カヤなど工芸材料や食用林産物生産の可能性を探りましょう。



**農とスポーツの融合・発地里山パーク ①**

浅間山を仰ぎながら植物園を散策し、発地市庭のレストランで食に興じるなど里山を満喫できる場所を目指します。山腹に植樹したモミジの紅葉と合わせて、発地市庭には旬モノが出揃います。



**休耕田の活用 ②**

道路脇に設けた自転車道やホース・トレッキングコースの正面には、裾野を広げた浅間山の姿が広がっています。あたりの湿地は、バードウォッチングには格好の場所です。人と動物がふれ合う羊牧場や馬事公苑等の施設の開発は心と身体を健康を育む「里山セラピー」の場としてもふさわしく、いざという時には食糧基地として元に戻すことも可能な軽井沢の自然財産です。



**交流する各種スポーツ ③**

新しいクラブハウス、その前面に広がる緑地は、スポーツ愛好家の飲食休憩、談話スペースとなり、またキッズパークとして子どもたちの遊びスペースを提供します。

